

### 農学



岐阜農林事務所  
植松 晃弘

異動歴  
H27年 採用 農業経営課  
H29年 飛騨農林事務所  
H31年 西濃農林事務所  
R2年 農産園芸課  
R4年 現所属

#### Q1 現在の仕事内容を教えてください。

主な業務は、“花”の生産者の経営支援です。岐阜県が育成したオンリーワン品種の栽培技術指導や生産者から依頼された生育障害の調査診断などを通じて、農業経営の発展に向けた支援を行っています。

#### Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

短大で初めて農業について学び、やりがいや魅力に触れた反面、経営には多方面からの支援が必要だと気づきました。生産者と一緒に課題解決に取り組み、栽培の効率化や農業経営の安定化に貢献することで、農業を誰もが憧れる産業にしたいと考え志望しました。

#### Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

岐阜県は耕地の高低差が約1,000m以上あり、その変化に富んだ自然条件の下で栽培される多種多様な品目と、それらを生産する多くの生産者と関わることができます。そうして得た現場の声に対して、行政・普及・研究の様々な立場から課題解決に取り組み、多方面から農業の振興

に貢献することができるのが魅力だと思います。

#### Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

やりがいを感じる瞬間は、生産者から感謝の言葉をいただけた時です。日々寄せられる生育障害の原因の調査診断をした時をはじめ、特に、こちらからの提案が生産者の悩みの解消に結び付き、経営や栽培管理の合理化に貢献できた時などはとても嬉しく、日々の業務の原動力になっています。

#### Q5 働く環境についてはどう思われますか。

経験したことがない品目を担当することになって、専門知識が豊富な先輩方が事務所にいるので、いつでも相談し、アドバイスをいただくことができます。栽培技術や病害虫の診断方法だけに留まらず、生産者との信頼関係が欠かせない仕事だからこそ、指導方法や関わり方についても相談できるので、安心して働くことができます。

#### ある日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	13:30	16:00	17:15
登庁・出張準備	県育成品種の栽培指導	昼休み	メール確認、照会の回答	鉢花培養士の土壌診断	調査データのパソコン入力	退庁

### 土木



岐阜土木事務所  
石原 光基

異動歴  
H30年 採用 道路建設課  
R2年 古川土木事務所  
R4年 現所属

#### Q1 現在の仕事内容を教えてください。

都市計画道路を整備する工事の発注、監督業務を行っています。予算資料作成や事業スケジュール検討など事務作業が多いですが、現場状況をより把握するために頻繁に現場へ向かうよう心掛けています。

#### Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

地元である岐阜県の職員として、大学で学んだ土木の知識をインフラ整備やその維持管理に活かすことで、家族、友人など周りの人の暮らしや、街づくりに貢献したいと思ったことがきっかけです。他にも大学などで話を聞いていくなかで、ワークライフバランスの点でも働きやすい職場だと思い、岐阜県庁を志望しました。

県の技術職員として働く魅力だと思います。

#### Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

様々な困難を乗り越えて私たちが進めてきた仕事が目に見える形で形に残り、そして県民のより良い生活に寄与できることにやりがいを感じています。開通した道路にたくさんの車両が走っているのを見たり、地元の方から感謝の言葉を頂いたりしたときには、この仕事に携わって良かったと思いました。

#### Q5 働く環境についてはどう思われますか。

同僚はもちろん先輩や上司にも気軽に相談ができ、困ったときは先輩達の豊富な経験と知識にいつも助けられています。土木の仕事はチームで進めていくものだと改めて感じることができる職場環境です。また、仕事にメリハリをつけることで、残業時間を減らし、積極的に休暇を取得できています。

#### Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

岐阜県は地形の特性上、トンネルや橋梁等の大型施設の建設など、やりがいのある仕事に従事できるチャンスが数多くあります。また、複数の市町村を結ぶ幹線道路や河川の整備など大規模事業に携わることができることも

#### ある日のスケジュール

8:30	9:00	9:30	11:00	12:00	13:00	15:00	17:15
登庁	メール・書類の確認	工事現場立会	工事実施設計書の作成	昼休み	設計コンサルタントとの打合せ	予算資料の作成	退庁

### 農業土木



下呂農林事務所  
杉浦 隆斗

異動歴  
H30年 採用 恵那農林事務所  
R3年 現所属

#### Q1 現在の仕事内容を教えてください。

農道の新設工事や田んぼの区画を大きくするほ場整備工事、老朽化した用排水路を改修する工事の担当をしています。工事では監督業務のほか、調査設計業務の発注や工事箇所の地元調整などを行っています。

家の方から直接声をかけていただけたところが魅力です。

#### Q4 一番印象に残っている仕事を教えてください。

前の所属で担当していたほ場整備工事です。営農されている方や他の官公庁との調整に非常に苦労することもありましたが、工事完成後営農されている方から感謝の声をかけてもらい、頑張ってたかったことが一番印象に残っています。

#### Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

大学では農業土木について学んでいました。将来は学んだ知識を活かした仕事に就きたいと考えていたとき、岐阜県職員の農業土木職を知りました。大学は県外でしたが、帰省するたびに生まれ育った岐阜県の良さに魅力を感じて、岐阜県で働きたいと思い志望しました。

#### Q5 働く環境についてはどう思われますか。

上司や先輩職員に相談しやすく風通しのよい職場です。また、若手職員同士の交流もあり、職種問わず困ったことがあればお互いに相談することができます。また、水曜日のノー残業デーや「8のつく日」といった定時退庁を推進する日があり、メリハリをつけて仕事をすることができることも大きな魅力だと思います。

#### Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

私の職種では特に地元農家と深く関わることが多いです。地域の様々な特産物（米、トマト等）の生産基盤となる田んぼ・畑の工事は、その作物や地域状況に合わせた設計・施工が必要となり苦労することも多いのですが、工事後に「工事前より耕作しやすくなった、ありがとう」と農

#### ある日のスケジュール

8:30	9:00	11:00	12:00	13:00	14:00	16:00	17:00	17:15
登庁・メール確認	工事現場立会	打合せ・立会資料確認	昼休み	建設コンサルタントとの打合せ	地元関係者と工事現場立会	工事現場立会書類作成	メール確認	退庁

**Q1** 現在の仕事内容を教えてください。

森林・林業に関わる管理・取組みの支援を行っています。具体的には、森林の間伐や再造林などへの補助事業に関する事務、森林の施業に携わる事業者への支援を行っています。森林環境教育の支援のため学校へ赴くこともあります。

**Q2** 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

大学では森林生態学を専攻し、少しでもその知識を活かして森林の管理を支援していきたいと思い入庁しました。森林整備関係の業務をするものと考えていましたが、最初の担当は治山事業で森林土木工事の施工管理をする業務であり、仕事の幅広さに驚きました。

**Q3** 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

担当する業務は、森林整備から治山事業、森林開発の規制、森林環境教育や木材利用拡大、特用林産振興など多岐にわたります。森林に対し、非常に多様な視点で関与できることが魅力だと思います。

**ある日のスケジュール**

9:00	10:00	12:00	12:45	13:45	15:30	17:30
登庁(時差出勤30分遅出)、メール確認	森林組合のヒアリング	昼休み(休憩時間15分短縮勤務)	現場へ移動	森林作業道に対する補助事業の現地検査	検査調書作成、メール確認	退庁

**Q4** 一番印象に残っている仕事を教えてください。

森林文化アカデミー在籍時の岐阜県地域森林監理士養成研修です。林業事業体のプランナー向け研修の開催事務方という立場に関わりましたが、研修に立ち会う中で自身の知識も高められた面白い役回りでした。ここでの経験が林業普及指導員の資格取得や現在の業務にも活かされているように思います。

**Q5** 働く環境についてはどう思われますか。

上司や周りの職員は相談に乗ってくれますし、休みも取得しやすいです。息子の誕生にあわせて育児休業を3か月取得し、それ以降は育児部分休業や遅出勤務を行っています。最近ではテレワークも可能になり、ワークライフバランスのとれた柔軟な働き方ができる環境だと思います。



森林科学

西濃農林事務所  
牧村 郁弥

異動歴  
H25年 採用 恵那農林事務所  
H28年 自然環境保全課  
H29年 森林文化アカデミー  
R4年 現所属

**Q1** 現在の仕事内容を教えてください。

飛騨地域(高山市、飛騨市、白川村)の畜産振興(酪農・養豚・養鶏・養蜂)を行っています。業務としては、畜舎の施設整備や自給飼料収穫機の導入等により、生産基盤の維持・強化を図る事業や各畜種の団体活動の補助・支援を実施しています。また、畜産農家への巡回により現場での課題を把握し、改善に向けて一緒に取り組んでいます。

**Q2** 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

実家は岐阜市内で酪農を営んでいます。牛とともに生活することが当たり前となっていたので、将来は畜産業に携われるような仕事に就きたいと考えていました。また、畜産関係の高校や大学に進学し、様々な経験をすることで、岐阜県の畜産を盛り上げることができる仕事の一つとして岐阜県職員を志望しました。

**Q3** 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

岐阜県には、「飛騨牛」に代表される全国的なブランドが数多くあります。その中で、県職員として、素晴らしい

**ある日のスケジュール**

8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	16:30	17:15
登庁・メール確認	資料作成	畜産農家巡回	昼休み	補助事業確認調書の作成	補助事業完成検査立会	メール・資料確認	退庁

技術を持つ生産者、関係機関と一緒に仕事ができることは、とても魅力的だと思います。また、畜産といっても様々な畜種があるため、畜種に応じた技術や知識を習得でき、幅広く仕事に携われることも魅力です。

**Q4** 一番印象に残っている仕事を教えてください。

2年目、3年目に経験した「豚熱」の対応です。岐阜県では26年ぶりに平成30年9月に豚熱が発生しました。当時、恵那農林事務所勤務でしたが、災害ともいえる未曾有の経験に対して、動員確保や仮設テント・集合場所の設置等、畜産分野以外の県職員や、市・JA等の関係機関と連携・協力して仕事できたことは今でも印象深いです。

**Q5** 働く環境についてはどう思われますか。

一人で考えすぎず、困ったことや悩み事等があれば気軽に相談できるとてもよい環境です。2、3年程度で異動することが多いですが、どの職場でも優しい上司や先輩、同期と仕事ができ、日々楽しく仕事できています。また、リフレッシュとして休暇も気軽に取得できるため、プライベートとの両立もできます。



畜産

飛騨農林事務所  
箕浦 睦也

異動歴  
H29年 採用 恵那農林事務所  
R2年 農産物流通課  
R4年 現所属

**Q1** 現在の仕事内容を教えてください。

岐阜県は海なし県ですが、全国屈指の鮎、溪流釣りの漁場があり、地域の重要な資源となっています。私は、主に補助金を通じてこの漁場を管理している漁業協同組合の活動を支援する業務を行っています。

**Q2** 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

私は、生物の生態や人間との関わりについて興味があり、大学では干潟の生態をテーマとした研究に取り組んでいました。そんな中、公務員として水産の研究や普及を行う仕事があると知り、出身地である岐阜県でこのような働き方ができればと思い、志望しました。

**Q3** 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

水産の技術職員は、研究所と県庁の両方で勤務する機会があります。研究所は技術開発やその普及などを行います。県庁は許認可や補助金業務の他、必要となる事業の立ち上げ等を行います。実際に魚を触りながらの現場の仕事から、新たな制度づくりに関わる仕事まで、幅広い

**ある日のスケジュール**

8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	16:30	17:15
登庁・メール確認	漁業協同組合にて補助金の確認検査	昼休み	確認復命書の作成	事業説明会資料の作成	メール・打合せ資料確認	退庁

視点で仕事ができることが技術職の魅力だと思います。

**Q4** 今の仕事のやりがいを教えてください。

現在、10年後の水産業の状況を見据え、水産業の振興計画を策定しています。この計画では、より魅力的で持続的な活力ある漁場づくりを目指しています。また、必要となる新たな補助制度の創設も同時に行っています。様々な関係者の意見を取り入れながら計画や制度を作り上げていく過程に面白みを感じています。

**Q5** 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか

県職員の仕事は多岐にわたり、一人の力だけでは解決できない事に直面することも多くあります。そのような時には、一人で抱え込まず、係や課の皆で助け合いながら仕事を進めるようにしています。また、経験豊富な上司や先輩方に相談すると、良いアドバイスがいただけるので心強いです。



水産

里川振興課  
田中 綾子

異動歴  
H29年 採用 水産研究所(本所)  
H31年 水産研究所(下呂支所)  
R2年 現所属